



遠く

雨が

聞こえる

「朝焼けは雨、夕焼けは晴れ」「飛行機雲が立つと雨、すぐに消えると晴れ」「遠くの音がよく聞こえると雨」……。

高気圧や低気圧、空気中の水蒸気量などによってもたらされる、さまざまな自然現象。古くからことわざとしても伝わる法則のひとつは、時間と空間の内に現れ出ては消え、現象という名の認識として残されていく。

一方、生活の中に現れるコーヒーの染み、錆びた屋根、したたる雨のゆらめきやよどみ。日常のそこかしこにある現象と人との距離感や時間の流れの異なりを見つめる渡辺は、紙や石膏、セメント、蠟などの素材で現象をかたちにする行為を繰り返す。

「例えば風を描きたいなと思っても、目には見えない。けれど、景色を風が目線で見るまねをしたら、風が描けた」空を読み、風を集め、光をとらえる。そんな渡辺の感性によって、現象を再構築した。

渡辺 楓和 わたなべふうわ

1994年秋田市生まれ。2017年、秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻(ガラス・陶芸)卒業。これまでART BOOK TERMINAL HOKU 2016、2017出品、ガラス教育機関合同作品展出品、カレンター草子(画詩集)制作・出版。2017年からアート・ものづくり・デザインの間をいくユニット「ふきぬけとそぞろ」として二人展、イベントなどにも参加。

関連イベント

ギャラリートーク

◎日時 6月22日(土) 14時～15時
会場にて作家による作品解説を行います。

ワークショップ

◎日時 7月7日(日)
11時～12時、14時～15時
作家による小さなワークショップを開催。紙と画材を使ってさまざまなにじみをお楽しみいただけます。当日、会場にて随時ご参加ください。

会期

2019

6

22

[土]

↓

7

28

[日]

会場

秋田公立美術大学サテライトセンター

〒010-0001

秋田市中通二丁目8-1(フォンテAKITA6階)

※車でお越しの方は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

10時～18時50分

会期中無休 観覧無料